

～秋田 みち かわ ちい き 情報～

発行者：国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

〒010-0951 秋田市山王1-10-29 TEL：018-823-4167 FAX：018-862-0938

【開通 6ヶ月後】一般国道 7号

しもはま

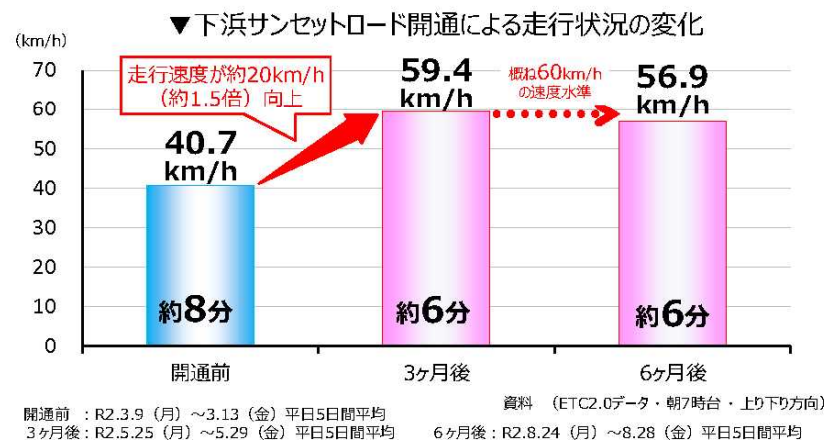
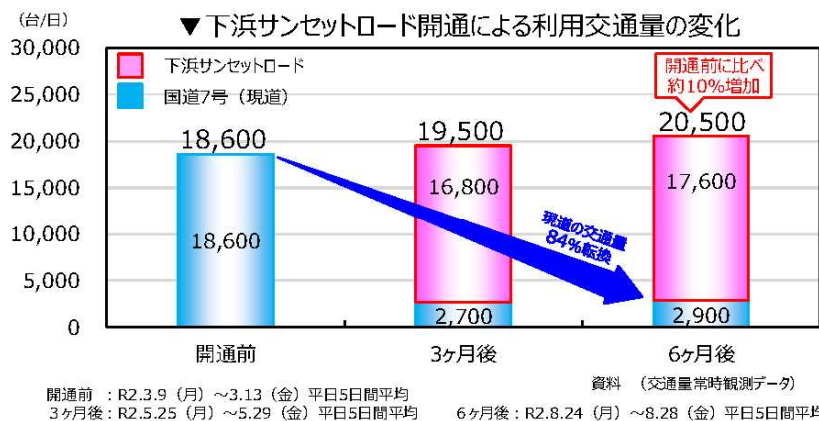
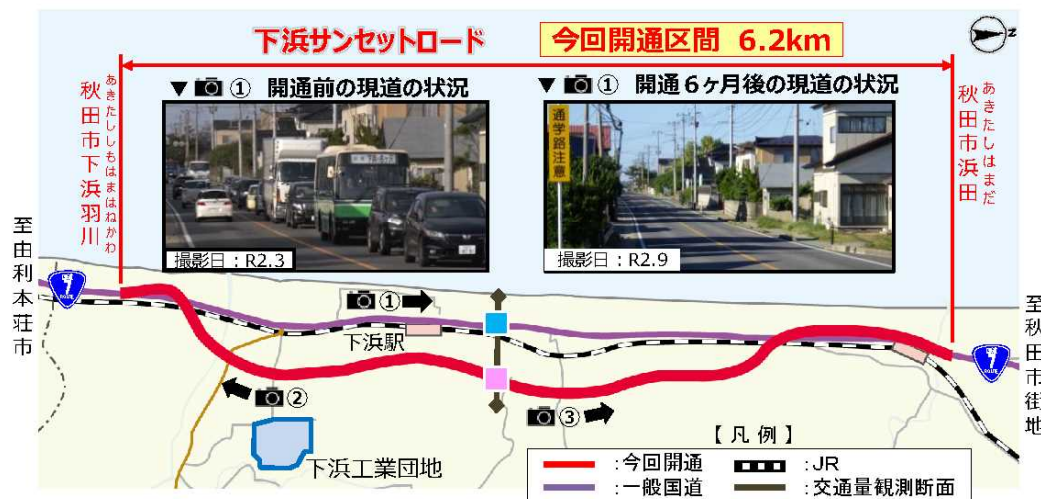
下浜サンセットロード が開通して

(令和2年3月14日開通)

- 下浜サンセットロードの利用交通量は17,600台/日、走行速度が約20km/h向上
- 交通事故の削減 ～歩行者・自動車相互の交通安全性が向上～
- 救急活動の支援 ～円滑な救急医療活動の実現～
- 木材産業の支援 ～木材輸送の効率化による地域産業の振興支援～

○開通区間および周辺道路の交通状況（利用交通量・走行速度）

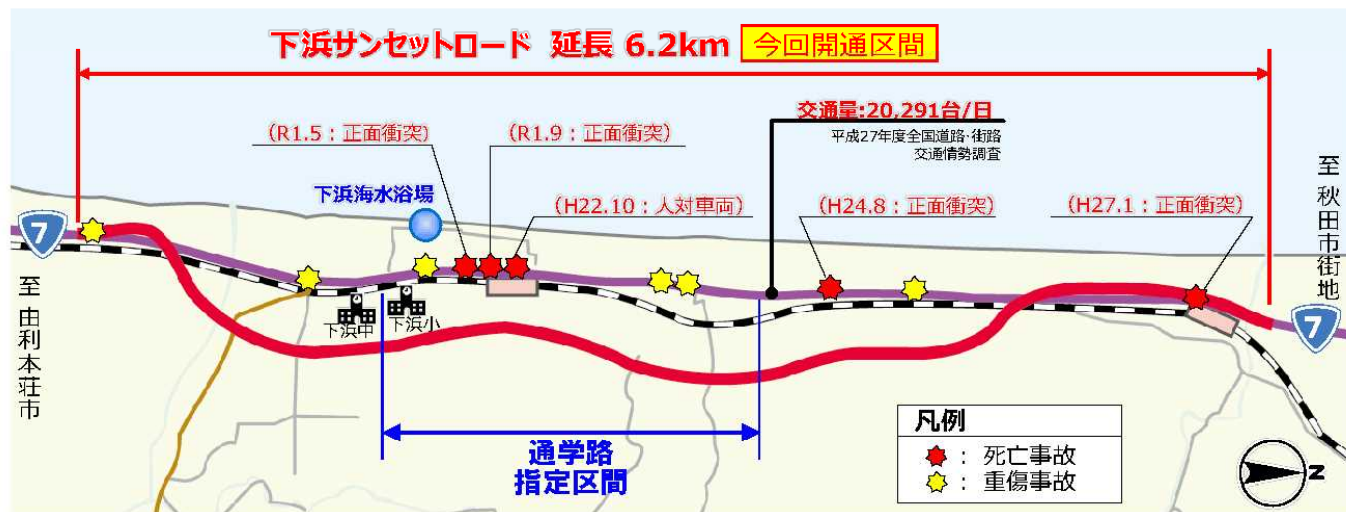
- ・下浜サンセットロードの6ヶ月後の交通量は17,600台/日（平日）、現道交通量は2,900台/日（平日）で開通前に比べ8割超の交通量が転換。
- ・下浜サンセットロードの開通により走行速度が概ね60km/hに。開通前の現道に比べ約20km/h [約1.5倍] の速度向上。



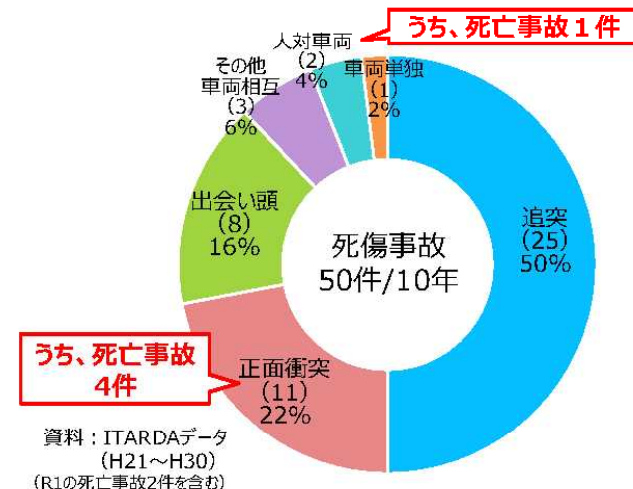
# ○生活環境の改善 ～歩行者の交通安全性が向上～

- ・下浜サンセットロードの開通以前は、「正面衝突」や「人対車両」など危険な重大事故が現道で発生。
- ・開通後は大型車の9割以上が下浜サンセットロードに転換し、現道の大型車交通量は大幅に減少。
- ・更に、現道でスピードを出し過ぎている車両が大幅に減少しており、歩行者の安全性向上に寄与。

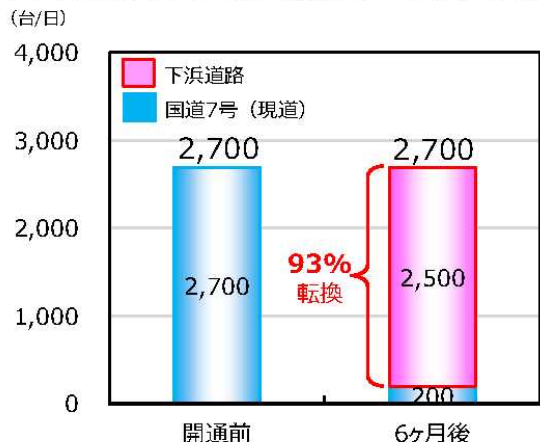
▼現道（国道7号）の事故発生状況



▼現道（国道7号）の事故類型割合

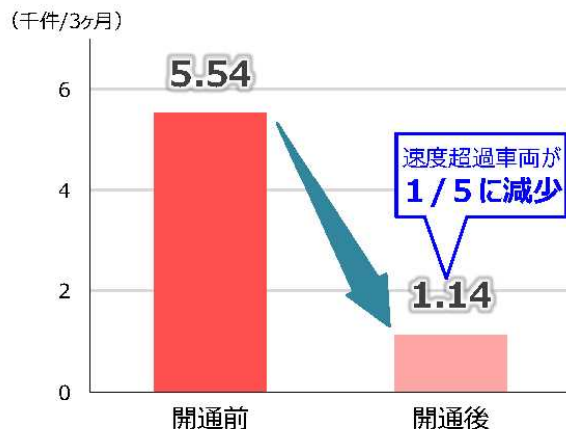


▼下浜サンセットロード開通後の大型車交通量の変化



開通前: R2.3.9 (月) ~ 3.13 (金) 平日5日間平均  
6ヶ月後: R2.8.24 (月) ~ 8.28 (金) 平日5日間平均  
(資料) 交通量常時観測データ

▼速度超過件数の変化 (現道)



出典: ETC2.0データ (平日: R1.5~7, R2.5~7)  
※一般道の最高速度60km/hを超過する件数

## 【下浜小学校と中学校の声】 (R2.8.17ヒアリング)

- ・通学路区間の多くが、人同士のすれ違いが難しいほど歩道の幅員が非常に狭く、車道までの距離が近いため、大型車の通行時に風で煽られ風圧で車道の方に引き寄せられる事があり、非常に危険であった。
- ・開通後は、予想以上に交通量が減少したと実感しており、通学時間帯に児童や生徒が事故に巻き込まれる可能性が非常に低くなった。
- ・開通前は狭い道路をスピードを出して走行する車が多かったが、開通後は無理に急ぐような車は大幅に減少したと感じられ、総じて歩行者の安全性が高まった。



▼下浜サンセットロード開通前の通学状況 (現道)



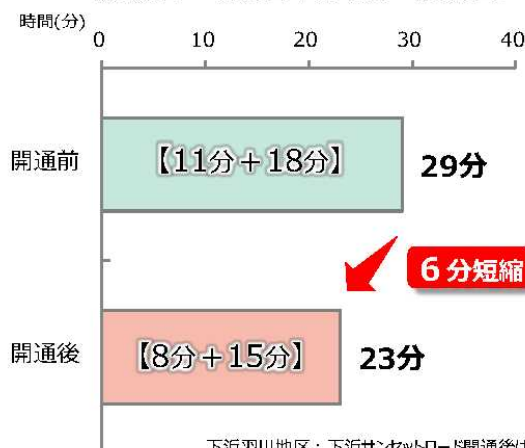


# ○救急活動の支援 ～円滑な救急医療活動の実現～

- ・下浜地区においては、下浜サンセットロードの開通が救急搬送の迅速化に寄与。
- ・下浜羽川地区は下浜サンセットロードの利用により約6分の搬送時間短縮。
- ・他の下浜地区でも、交通事情の改善により迅速化が実現。

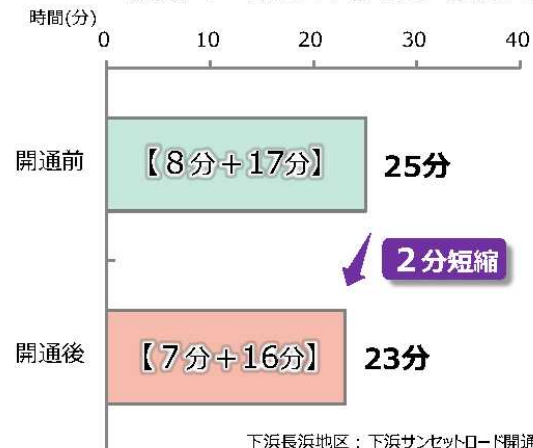


## ▼「下浜羽川」地区の出場時間と搬送時間 【消防署～現地着＋現地発～病院着】



下浜羽川地区：下浜サンセットロード開通後は、下浜サンセットロードを利用して搬送する地区

## ▼「下浜長浜」地区の出場時間と搬送時間 【消防署～現地着＋現地発～病院着】



下浜長浜地区：下浜サンセットロード開通後も、現道を利用して搬送する地区

出典：秋田市消防本部の搬送実績（H24～R2）

### 【秋田消防署新屋分署の声】

- ・下浜道路は道幅も広く追いつきも容易で、信号などのブレーキも生じず、羽川地区までスムーズに走れる。
- ・現道は特に大型車が減って混まなくなり、沿線の長浜地区への出場や救急活動が行い易くなった。
- ・下浜道路、国道7号ともに安定した走行が可能となり、搬送時の安全性向上、時間短縮に繋がっている。

(R2.5.21ヒアリング)



### 【由利本荘市消防本部の声】

- ・市立秋田総合病院などへ搬送する際には、日沿道の岩城ICより国道7号の下浜道路を往復で利用する。
- ・下浜道路の開通により、搬送時間が短縮されると共に、道路の幅員が広くなった事から前方の見通しが良くなり、緊急走行時の安全性が向上する。

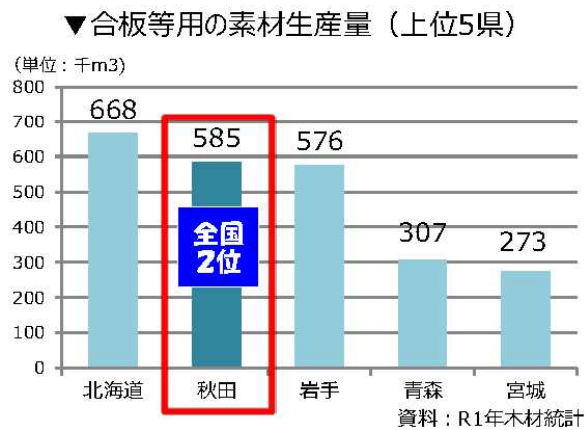
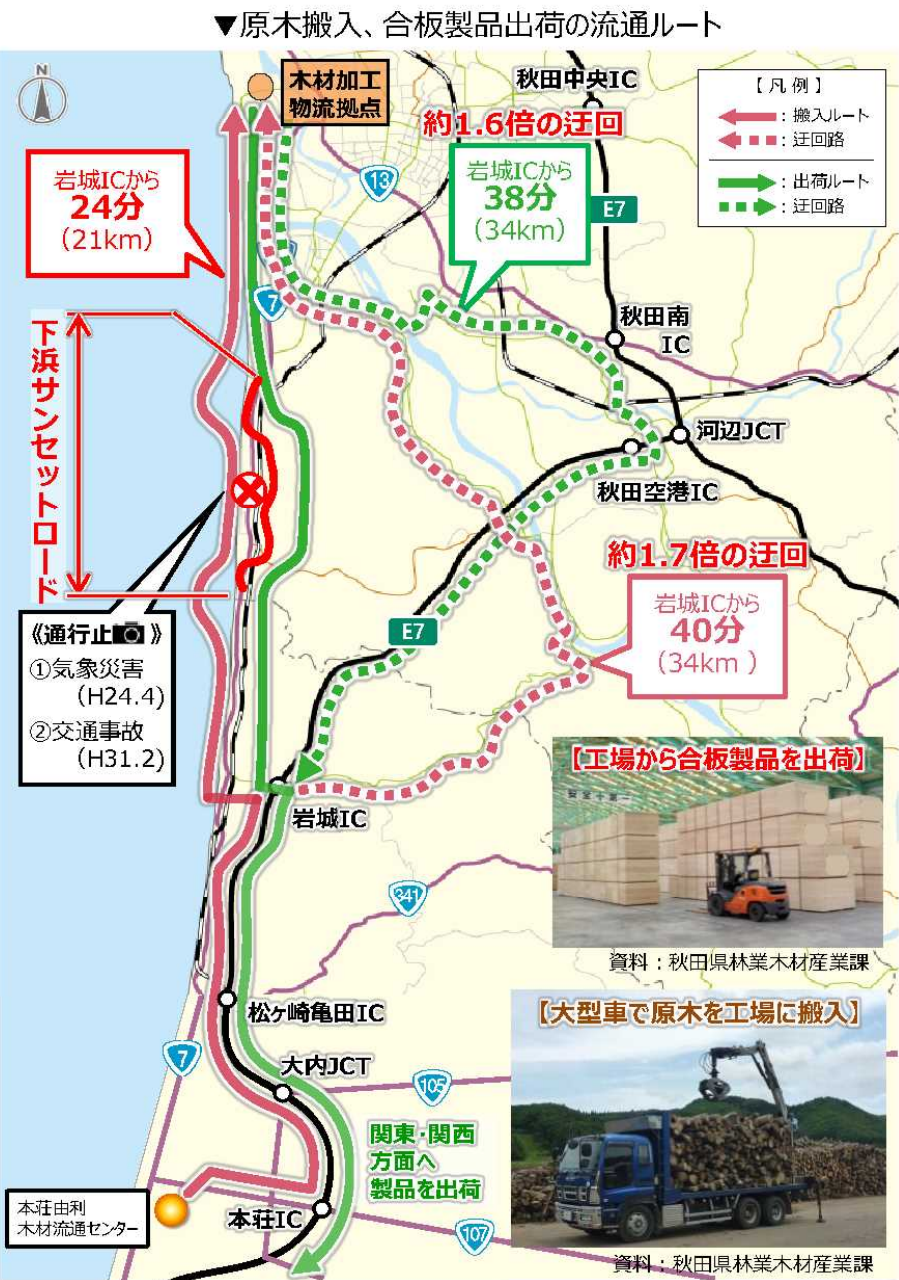
(R2.5.25ヒアリング)





# ○木材産業の支援 ～木材輸送の効率化による地域産業の振興支援～

- ・秋田県の合板生産量は全国第2位。中でも、本荘由利木材センターから加工拠点への出荷量は県内総量の約2割を占める。
- ・これまで国道7号が下浜地区が災害等により通行止めになると、原木搬入に広域迂回が必要となり経済損失が発生。
- ・下浜サンセットロードは木材流通の安定に寄与。



### 【木材産業関係者の声】 (R2.9ヒアリング)

- ・本荘由利地区からの**原木搬入**や、首都圏や関西圏への**合板製品出荷**時には、下浜道路を必ず利用。
- ・原木搬入では、**車両の大型化**（フルトレーラー）が主流であり、狭隘な**下浜地区を通過しなくて良かった事**は、**輸送効率と安全性**の両面で非常に助かる。
- ・事故や渋滞で**1日4回の搬入が2回に制限される場合**、輸送の**固定費で原価割れ**が生じ赤字であったが、下浜道路が現道の**一方が通れる事で損失回避**が可能になる。

